

令和6年度研修並びに活動方針・活動計画

- 1 管理職としての自覚を高め、資質の向上をめざす。
 - (1) 全国共通研究課題の解決・改善に向け、組織的・継続的に取り組む。
 - (2) 全国公立学校教頭会研究大会高知大会及び九州地区公立学校教頭会研究大会宮崎大会に参加し、研究成果を共有して研修の推進を図る。
 - (3) 佐賀県公立学校教頭会研究大会を開催し、各地区における研修を深めながら、県教頭会の充実・強化を図る。
- 2 当面する教育課題の改善、充実に努める。
 - (1) Society5.0時代のICT技術の更なる発展進化、自然災害の発生、国際関係の変化など、予測困難な状況においても、一人一人の児童生徒が豊かに生きぬく力を育むために、「令和の日本型学校教育」の構築をめざした教育課程の実施と学校運営に努める。
 - (2) 「誰一人取り残さない社会の実現」をめざすSDGsの実現に向けて、ESD（持続可能な社会の創り手を育む教育）を推進する。
 - (3) 「開かれた教育課程」の実現をめざし、家庭・地域との連携協力を密にした「地域とともにある学校づくり」を進める。
 - (4) 児童生徒の健全育成をめざす心の教育の推進と生徒指導の充実に努める。
 - (5) 児童生徒の安全確保のために、地域・家庭・学校が連携・協力して危機管理体制を構築し、役割と責任を持って職務遂行に努める。
- 3 教頭の専門性についての研究を深め、提言能力のある職能集団をめざす。
 - (1) 学校を組織的に運営するために、学校評価、教職員人事評価制度について実践的研究を深め、学校の活性化を図る。
 - (2) 児童生徒一人一人の個性や多様性に対応した指導の充実にために、教頭の指導性を高める。
 - (3) 教育DXの推進や生成AIを活用した個別最適な学びなど多様な学習に対応するために、施設・設備等の教育環境の改善や充実に努める。
 - (4) 児童生徒と向き合う時間や教員の研修時間を確保するために、働き方改革を意識した職場環境の改善に努める。
- 4 教育水準の維持向上や教員の人材育成に努める。
 - (1) 教育理論や最新の教育技術に関する情報を収集し共有して、研修に努める。
 - (2) 学校の運営方法や教員に対する研修の在り方についての研修に努める。
- 5 教頭会の組織を強化し、活動の効率化と充実に努める。
 - (1) 組織の整備と機能的活動の強化に努める。
 - (2) 校長会その他の教育諸団体との連携を深める。